

内令第三十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊海軍軍需部(小樽出張所職員ニ充ツベキモノ)

主計科 尉官 部員 一人

中少尉(機) 機關兵曹長 附 一人

兵曹、機 關兵曹 二人(特修兵適宜)

主計 兵曹 一人(掌理兵)

内令

四九

0922

内令第三十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設砲艦 神津丸

工作兵曹、工作兵

五人(掌工兵(檢  
其ニ)

内令

五一

0923

内令第三十三號

昭和十八年内令第五百三十五號中左ノ通改正ス

昭和十九年二月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

改ム  
「五人」ヲ「十人」ニ、「兵曹、機關兵曹 二十人」ヲ「兵曹、機關兵曹 四十」人  
主計兵曹 一人(掌經理兵)ニ

参照 前記内令ハ高雄警備府(臺灣總督府海軍兵志願者訓練所職員ニ充ツベキモノ)等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

五三

0924

内令第三十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八海軍病院

衛生兵曹、衛生兵

四十人

内令

五五

0925

内令第三十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

第十號驅潛艇

第十二號驅潛艇

兵 曹、水 兵

九人(掌砲兵 四)

内令

五七

0926

内令第三十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十五年内令第百八十四號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍兵學校(廢艦第十一號(舊稱平戸)ノ保管員ニ充ツベキモノ)

中少尉(水)、兵曹長 附 一人

中少尉(機)、機關兵曹長 附 一人

兵 曹、水 兵 十七人(掌砲兵 一、掌帆兵 一、掌信號兵 一)

機關兵曹、機關兵 十七人(掌機兵(主機) 一、掌電機兵 一)

衛 生 兵 一人

主 計 兵 一人

参照、廢止内令ハ、吳海兵團ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内 令

五九

0927

内令〔自第三十號  
至第三十六號〕（後送ス）

内令第三十七號

昭和二年内令第二百三十九號海軍軍樂隊配置表ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

〔横須賀第一海兵團〕ヲ〔横須賀海兵團〕ニ、〔佐世保第一海兵團〕ヲ〔佐世保海兵團〕ニ改ム

（内令提要卷一、四五〇ノ四頁参照）

内令第三十八號

昭和十七年内令第二千五十五號海兵團新兵數標準超過ノ際人員臨時増置ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

〔横須賀第二海兵團〕ヲ〔武山海兵團〕ニ、〔佐世保第二海兵團〕ヲ〔相浦海兵團〕ニ改ム

（内令提要卷一、四八一頁参照）

内令

六一

0928

内令第三十九號

昭和十八年内令第八百五十九號海兵團豫備補習生數標準超過ノ際人員臨時増置ノ件申左ノ通改正ス  
昭和十九年一月四日  
海軍大臣 嶋田繁太郎

別表中「横須賀第一海兵團」ヲ「横須賀海兵團」ニ、「佐世保第一海兵團」ヲ「佐世保海兵團」ニ改ム

(内令提要卷一、四八五頁参照)

内令第四十號

昭和十八年内令第二千九十四號高等商船學校等海軍武官配屬表ノ件申左ノ通改正ス  
昭和十九年一月四日  
海軍大臣 嶋田繁太郎

別表中「横須賀第一海兵團」ヲ「横須賀海兵團」ニ、「佐世保第一海兵團」ヲ「佐世保海兵團」ニ改ム

内令第四十一號

海軍定員令申左ノ通改正セラレ

0929



昭和十九年一月四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海兵團定員表其ノ一中「横須賀第二」ヲ「横須賀」ニ、「佐世保第一」ヲ「佐世保」ニ改ム  
 同表備考第一號及第五號中「横須賀第一海兵團」ヲ「横須賀海兵團」ニ、「佐世保第一海兵團」ヲ  
 「佐世保海兵團」ニ、同備考第六號中「横須賀第一海兵團」ヲ「横須賀海兵團」ニ改ム  
 海兵團定員表其ノ二中「横須賀第二」ヲ「武山」ニ、「佐世保第二」ヲ「相浦」ニ改ム

(内令提要卷一、二七三頁参照)

内令第四十二號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年一月四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ二ノ五中「横須賀第二」ヲ「横須賀」ニ、「佐世保第一」ヲ「佐世保」ニ、「横須  
 賀第二」ヲ「武山」ニ、「佐世保第二」ヲ「相浦」ニ、同表備考第六號中「横須賀第一海兵團」ヲ

内令

六三

0930

内令

六四

「横須賀海兵團」ニ改ム  
教員配置表其ノニ海兵團ノ部中「横須賀第一」ヲ「横須賀」ニ、「佐世保第一」ヲ「佐世保」ニ、「横須賀第二」ヲ「武山」ニ、「佐世保第二」ヲ「相浦」ニ、同表備考第一號中「横須賀第二海兵團」ヲ「横須賀海兵團」ニ改ム

(内令提要卷一、四三〇ノ二頁参照)

0931

内令第四十三號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦、巡洋艦二等川内型ノ項中「川内、」ヲ削ル

驅逐艦、一等卯月型ノ項中「望月」ヲ、同不知火型ノ項中「初風」ヲ、夕雲型ノ項中「涼波」

ヲ、同二等若竹型ノ項中「早苗」ヲ削ル

潜水艦、一等伊十七型ノ項中「伊號第三十四」ヲ削ル

海防艦、占守型ノ項中「若宮」ヲ削ル

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第四十四號

特務艦類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

六五

0932

測量艦ノ部中「筑紫、」ヲ削ル

(内令提要卷三、四〇頁参照)

内令第四十五號

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特務艇、驅潛特務艇第一號型ノ項中「第三十一號」ヲ削ル

(内令提要卷三、四二頁参照)

内令第四十六號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0933

二等巡洋艦定員表其ノ三中「川内、」ヲ削ル  
 一等驅逐艦定員表其ノ一中「望月、」ヲ削ル  
 一等驅逐艦定員表其ノ五中「初風、」ヲ削ル  
 一等驅逐艦定員表其ノ六中「涼波、」ヲ削ル  
 同表備考第四號中「涼波、」ヲ削ル  
 二等驅逐艦定員表中「早苗、」ヲ削ル  
 一等潛水艦定員表其ノ五中「第三十四、」ヲ削ル  
 海防艦定員表其ノ一中「若宮、」ヲ削ル  
 測量艦定員表其ノ一ヲ削ル  
 測量艦定員表其ノ二中「第九十三表」ニ改メ「其ノ二」ヲ削ル  
 (内令提要卷一、三七四頁参照)

内令第四十七號

特修兵教員配置規則申左ノ通改正ス

内令

六七

0934

see connection  
P. 128 of book

内令

六八

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ八二等巡洋艦ノ部中「川内」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十四一等驅逐艦ノ部中「望月」、「初風」及「涼波」ヲ削ル

同表備考第二號中「~~下巻~~」及「涼波」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十五二等驅逐艦ノ部中「早苗」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十六一等潜水艦ノ部中「第三十四」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十七ノ二中「若宮」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十九測量艦ノ部中筑紫ノ項ヲ削ル

同表備考第二號中「筑紫」ヲ削ル

(内令提要卷一、四三〇ノ一五頁参照)

0935

内令第四十八號 (後送ス)

内令第四十九號

右帝國軍艦籍ヨリ除カル

右帝國驅逐艦籍ヨリ除カル

佐世保鎮守府在籍

軍艦 川内

吳鎮守府在籍

驅逐艦 初風

驅逐艦 早苗

佐世保鎮守府在籍

驅逐艦 望月

舞鶴鎮守府在籍

驅逐艦 涼波

内令

七一

0936

右帝國潛水艦籍ヨリ除カル

吳鎮守府在籍  
伊號第三十四潛水艦

右帝國海防艦籍ヨリ除カル

吳鎮守府在籍  
海防艦 若 宮

右帝國特務艦籍ヨリ除カル

横須賀鎮守府在籍  
特務艦 筑 紫

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第五十號

特設掃海隊編制申左ノ通改定セララル

0937



昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十七掃海隊ノ項中「第十一鵜丸」ヲ削ク

(内令提要卷一、一四二ノ八頁参照)

内令第五十一號

昭和十八年内令第千八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三特別根據地隊ノ項ヲ削ル

第六十六警備隊ノ項ノ次ニ左ノ一ノ項ヲ加フ

第六十七警備隊			第二十五號(佐) 第三十三號(佐)		第二號(横) 第三號(横)
---------	--	--	----------------------	--	------------------

内令

七三

0938

第八十二警備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第三十一號(吳)」ヲ削ル

参照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令第五十二號

昭和十八年内令第二千五百六十六號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三特別根據地隊ノ項ヲ削ル

第六十五警備隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第六警備隊									
第七隊									

第六拓南丸(横)

第八十二警備隊ノ項特設監視艇ノ欄「第三高千穂丸(舞)」ヲ削ル

参照 前記内令ハ特設特務艇ノ所屬ノ件ナリ

0939

内令第五十三號

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メタル處之ヲ解ク

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁二郎

第三十一號驅潛特務艇

内令第五十四號

右特設掃海艇トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

✓汽船 第十一鵜丸

右特設監視艇トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

✓漁船 第三高千穂丸

右特設運送艦トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

✓汽船 尾上丸

右特設運送船(給兵船)トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

✓汽船 日威丸

内令

七五

0940

右特設運送船（給水船）

トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 湊丸

汽船 木曾川丸  
汽船 朝山丸

右特設運送船（給糧船）

トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 東亞丸

同 康良丸

同 さんらもん丸

右特設運送船（給油船）

トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 武庫丸

同 東京丸

同 千早丸

同 日枝丸

同 昭興丸

0941

右特設運送船(雜用船)

トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

同 日海丸

汽船 金耶魔山丸

同 山福丸

同 興西丸

同 粟田丸

右特設運送船(雜用船)

トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 那智山丸

右特設運送船(雜用船)

トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 乾隆丸

右特設運送船(雜用船)

トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

丙令

七七

0942

内令第五十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六十八警備隊

中少尉(水)、兵曹長

隊附

四人(佐世保鎮守府在籍者 三)

兵 曹、水 兵

百二十四人(佐世保鎮守府在籍者六四)

内令

七九

0943

掌糧長

内令第五十六號

昭和十八年内令第千二百二十四號、同年内令第千二百二十七號及同年内令第千二百三十三號中第三特別

根據地隊ノ部ヲ削ル

掌經理長

同年内令第千七百十七號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

給與係

糧食係

被服係

被服係

需品係

昭和十八年内令第千二百二十四號ハ第三特別根據地隊等ニ人員臨時増置ノ件  
同年内令第千二百二十七號ハ大湊海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件  
同年内令第千二百三十三號ハ第八艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件  
同年内令第千七百十七號ハ第三特別根據地隊ニ人員臨時増置ノ件

内令

八一

0944

内令第五十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

武山海兵團(新兵應急收容施設設立準備委員ニ充ツベキモノ)

大 佐 教官 一人(兼横須賀鎮守府出仕)

兵曹長、機關兵曹長 一人

兵曹、機關兵曹 二人(特修兵適宜)

大竹海兵團(新兵應急收容施設設立準備委員ニ充ツベキモノ)

大 佐 教官 一人(兼吳鎮守府出仕大阪警備府出仕)

兵曹長、機關兵曹長 一人

兵曹、機關兵曹 二人(特修兵適宜)

内令

八三

0945



内令第五十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第九三二海軍航空隊

兵曹、水兵

六人(掌電信兵)

内令

八五

0946

掌衣糧長

内令第五十九號  
當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎



掌經理長

第二海軍航空廠

給與係

第十海軍航空廠  
第二海軍航空廠

糧食係

大尉(工) 部員 一人  
特務士官(水) 附 一人

被服係

特務士官(整)、整備兵曹長 附 一人  
特務士官(機)、機關兵曹長 附 一人

需品係

整備兵曹 一人(掌電信兵)  
整備兵曹 一人(掌航空兵器兵(雷爆))  
機關兵曹 一人(掌電機兵)

内令

八七

0947

内令〔自第五十五號至第五十九號〕（後送ス）

内令第六十號

海軍特別根據地隊ノ所管、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラル  
昭和十九年一月五日  
海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府 第三特別根據地隊  
ギルバート  
ヲ削ル

（内令提要卷一、三八ノ五頁参照）

内令第六十一號

昭和十七年内令第四十二號海軍特別根據地隊職員表ノ件中左ノ通改正ス  
昭和十九年一月五日  
海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

八九

0948

海軍特別根據地隊職員表其ノ十ヲ削ル  
海軍特別根據地隊職員表中「其ノ十二」ヲ「其ノ十」トシ以下順次繰上グ

(内令提要卷一、四五二頁参照)

内令第六十二號

驅逐隊編制申左ノ通改定セラル

昭和十九年一月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十六驅逐隊ノ項中「初風、」ヲ削ル

第三十驅逐隊ノ項中「望月、」ヲ削ル

第三十二驅逐隊ノ項中「涼波、」ヲ削ル

(内令提要卷一、六八頁参照)

0949

内令第六十三號

第二美保海軍航空隊（假稱）定員表別表ノ通假定ス  
前項航空隊設立準備員ニ充ツル爲必要ニ應ジ舞鶴鎮守府ニ出仕又ハ附トシテ別表定員ノ範圍内ノ人  
員ヲ臨時増置スルコトヲ得

昭和十九年一月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

（別表一葉添）

内令第六十四號

昭和十八年内令第七百五十號中左ノ通改正ス

昭和十九年一月八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

本文中「掌水測兵艦船配員標準」ヲ「掌水測兵（艦艇班）配員標準」ニ改メ別表ヲ別表ノ如ク改ム

（別表一葉添）

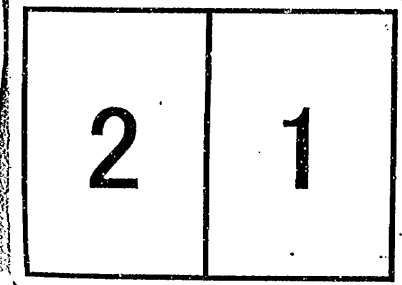
参照 昭和十八年内令第七百五十號ハ當分ノ間掌水測兵艦船配員標準ヲ定ムルノ件ナリ

内令

九一

0950

## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	第2美保海軍航空隊(仮称) 定員表(仮定)
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

(別表)

(昭和十九年内令第六十三號)

第二美保海軍航空隊(假稱)定員表(假定)

考	備	計	隊		教		教		隊		分		飛		分		副		司					
			附	官	官	頭	附	附	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長			
一 隊附兵科尉官ノ中二人ハ飛行部附、一人ハ飛行機整備部附ニ充ツ 二 飛行長、通信長、内務長、修補長、飛行隊長、兵科分隊長三人、隊附中少佐及兵科尉官、 軍醫長並ニ隊附タル中少尉(水)、中少尉(飛)、中少尉(整)及中少尉(工)ハ教官ヲ兼 務ス 三 中少尉(水)及兵曹長ノ中一人ハ掌通信長ニ充ツ 四 中少尉(整)及整備兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、一人ハ飛行部附、一人ハ搭乗整備ニ從 事スルモノニ充ツ 五 中少尉(水)及兵曹長又ハ機關兵曹長ノ中一人ハ掌内務長ニ充テ中少尉(工)ハ掌修補 長ニ充ツ 六 主計中少尉(主)及主計兵曹長ノ中一人ハ掌經理長、一人ハ掌衣糧長ニ充ツ 七 飛行兵曹長及整備兵曹長ハ教官ニ充ツ 八 兵科分隊長ノ中二人ハ大尉(水)、(飛)、(整)、(機)又ハ(工)ヲ以テ補スルコトヲ得 九 本表中兵科ノ特務士官、准士官、下士官又ハ兵ハ必要ニ應ジ各其ノ定員ノ範圍内ニ於テ 彼此増減スルコトヲ得 十 兵科分隊長ノ中二人ハ飛行部指揮官、一人ハ飛行機整備部指揮官、兵器整備部指揮官、 補機部指揮官、自動車部指揮官ニ充ツ			特務士官	士官	中少尉(水)	中少尉(飛)	中少尉(整)	中少尉(工)	中少尉(水)	中少尉(飛)	中少尉(整)	中少尉(工)	中少尉(水)	中少尉(飛)	中少尉(整)	中少尉(工)	中少尉(水)	中少尉(飛)	中少尉(整)	中少尉(工)	中少尉(水)	中少尉(飛)	中少尉(整)	中少尉(工)
			十七人	三十五人	一	一	四	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
			判任文官	准士官	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	整備兵	水兵	技書	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	整備兵	飛行兵	兵曹	飛行兵	整備兵	機兵	衛生兵	主計兵	
			六人	十一人	二十二	五	二十二	四十二	二百五十九	二十六	三	八	二	十一	九	四十九	二十八	十三	一	一	一	五	二	一
			三百七十六人	二百二十人																				

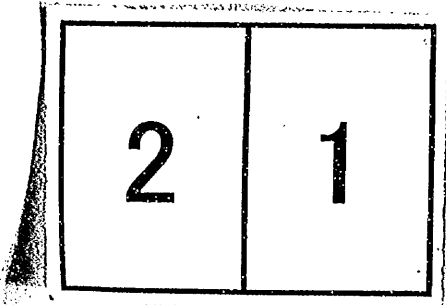
(高/普)兵砲掌	(高/普)兵測掌	(高/普)兵帆掌	(高/普)兵號信掌	(高/普)兵信電掌	(機/偵)兵行飛掌	爆射	爆雷	真寫	學光	(高/普)兵備整掌	機	機	(高/普)兵火内掌	(高/普)兵機電掌	治鍛	械機	上仕	金板	接熔	造鑄	具木	(高/普)兵理經掌	(高/普)兵糧衣掌	宜適兵修科兵

0952 0951

教員		特修兵		考		備		計		隊		教		教		隊		分		軍		隊		分		飛		分		修							
曹	兵	掌	掌	掌	掌	掌	掌	官	官	附	官	官	頭	副	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附							
三	曹	(高/普)兵砲掌	(高/普)兵測掌	(高/普)兵帆掌	(高/普)兵號信掌	(高/普)兵信電掌	(操/偵)兵行飛掌	掌航空兵器兵	掌機兵	(高/普)兵備整掌	(高/普)兵火內掌	(高/普)兵機電掌	掌工兵(特高)	(高/普)兵理經掌	(高/普)兵糧衣掌	軍適兵修特科兵(臨時)																					
二八	飛行兵曹	爆射	爆雷	真寫	學光	機	罐																														
二	整備兵曹																																				
	機關兵曹																																				
	工作兵曹																																				
		一 隊附兵科尉官ノ中二人ハ飛行部附、一人ハ飛行機整備部附ニ充ツ		二 飛行長、通信長、内務長、修補長、飛行隊長、兵科分隊長三人、隊附中少佐及兵科尉官、軍醫長並ニ隊附タル中少尉(水)、中少尉(飛)、中少尉(整)及中少尉(工)ハ教官ヲ兼務ス		三 中少尉(水)及兵曹長ノ中一人ハ掌通信長ニ充ツ		四 中少尉(整)及整備兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、一人ハ飛行部附、一人ハ搭乗整備ニ從事スルモノニ充ツ		五 中少尉(水)及兵曹長又ハ機關兵曹長ノ中一人ハ掌内務長ニ充ツ中少尉(工)ハ掌修補長ニ充ツ		六 主計中少尉(主)及主計兵曹長ノ中一人ハ掌經理長、一人ハ掌衣糧長ニ充ツ		七 飛行兵曹長及整備兵曹長ハ教員ニ充ツ		八 兵科分隊長ノ中二人ハ大尉(水)、(飛)、(整)、(機)又ハ(工)ヲ以テ補スルコトヲ得		九 本表中兵科ノ特務士官、准士官、下士官又ハ兵ハ必要ニ應ジ各其ノ定員ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得		十 兵科分隊長ノ中二人ハ飛行部指揮官、一人ハ飛行機整備部指揮官、兵器整備部指揮官、補機部指揮官、自動車部指揮官ニ充ツ		三十五人		十七人		内兼務十五人		内兼務八人		三十七人		百三十人		十一人		百三十六人	
		主計中少尉(主)		中少尉(水)		中少尉(整)		中少尉(飛)		中少尉(工)		中少尉(水)		中少尉(飛)		中少尉(整)		中少尉(工)		中少尉(水)		中少尉(飛)		中少尉(整)		中少尉(工)		中少尉(水)		中少尉(飛)		中少尉(整)		中少尉(工)			
		軍醫少佐、軍醫大尉		兵科尉官		少佐、大尉		少佐		少佐		少佐		少佐		少佐		少佐		少佐		少佐		少佐		少佐		少佐		少佐		少佐					
		兼務一		兼務二		兼務三		兼務四		兼務五		兼務一		兼務二		兼務三		兼務四		兼務五		兼務一		兼務二		兼務三		兼務四		兼務五		兼務一		兼務二			
		主計		衛生		工		機		整		水		技		書		主		衛		工		機		整		飛		兵		主		衛			
		兵		計		生		作		關		備		手		記		計		生		作		關		備		行		兵		計		生			
		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵		兵	
		二十二		五		二十二		四十二		二百五十九		二十六		三		三		八		二		十一		九		四十九		二十八		十三		一		一			



# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	掌水測兵(艦艇班)配員標準
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

(別表)

特設砲艦(大)	特設水上機母艦	特設航空機運搬艦	特設巡洋艦	曳船(驅潛艇型)	哨戒特務艇	驅海特務艇	電纜敷設艇	敷設艇	特務艦	哨戒艇	驅潛艇	掃海雷艇	水雷防敵艦	潛水艦	驅逐艦	敷設母艦	水雷母艦	巡洋艦	航空母艦	戰艦	特設防備隊	防備隊	驅潛隊	掃海隊	驅逐隊	特別根據地隊司令部 <small>(對潛艇/配屬ナキモノヲ除ク)</small>	根據地隊司令部	海上護衛隊司令部	防備戰隊司令部	第十戰隊司令部	潛水戰隊司令部	水雷戰隊司令部	裝備水測兵器別	下士官	兵			
聽音機	探信儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀	聽探音信機儀																	

(昭和十九年内令第六十四號)

0954 0953



内令第六十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第二百二十四號申第八海軍軍需部(マダン支部ノ職員ニ充ツベキモノ)ノ部ヲ削ル

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八海軍建設部

大 中 佐 部員 一人

主計中少尉 部員 一人

主計大尉 部員 一人

特務士官 附 一人

主計科特務士官 附 一人

豫備士官 部員 三人

高等文官 部員 兼務二人

兵 科、主計科佐官 部員 一人

兵 科、主計科佐尉官 部員 兼務二人

(運輸關係員ニ充ツベキモノ)

0955

中尉(水)、(機)  
兵曹長、機關兵曹長  
主計中少尉(主)、主計兵曹長

附 二人

兵曹、機關兵曹、主計兵曹

三人(特修兵適宜)

(補給關係員ニ充ツベキモノ)

技師

部員 臨時一人

書記

附 臨時一人

技手

附 臨時六人

参照 昭和十八年内令第二百二十四號ハ第八海軍軍需部(マダン支部ノ職員ニ充ツベキモノ)等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第六十六號

軍港ニ在ル海軍軍需部ニ置ク所要ノ課ノ件中左ノ通改正セラル

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

表中「第四課」ノ下ニ「第五課」ヲ加フ

(内令提要卷一、二八頁参照)

0956

Corrected by  
correction letter  
Add'l #107  
of Jan '44

<p>内令第六十七號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十九年一月十日 海軍大臣 嶋田繁太郎 軍港ニ在ル海軍軍需部 大 中 佐 第五課長 各一人</p>	<p>内令第六十八號 特設海軍運輸部中左ノ通改正セラル 昭和十九年一月十日 海軍大臣 嶋田繁太郎 附則第一項ヲ削ル (昭和十八年内令第二千四百十號参照)</p>	<p>内令第六十九號 特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラル</p>
---	--	---

内令

九五

0957

内令

九六

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

附則第六項ヲ削ル

(昭和十八年内令第二千四百九號参照)

内令第七十號

昭和十八年内令第千二百五十九號海軍運輸部ノ支部ヲ置ク等ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表中

ウ エ ー ワ ク	ブ イ ン	ラ バ ウ ル 海 軍 運 輸 部	ウ エ ー ワ ク 支 部	ブ イ ン 支 部
-----------------------	-------------	---	---------------------------------	-----------------------

ブ イ ン ラ バ ウ ル 海 軍 運 輸 部	ブ イ ン 支 部	ニ 改 ム
--	-----------------------	-------------

0958

内令第七十一號

昭和十五年内令第六百四十六號特設海軍工作部等ノ所掌區分等ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八海軍建設部ノ項中「物資ノ生産及調査竝ニ開拓」ヲ「物資其ノ他軍需品ノ生産、保管、供給、調査及運輸竝ニ施設、開拓等」ニ改ム

第八海軍軍需部ウエーワク支部ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、三八ノ四一頁參照)

内令第七十二號

海軍特別根據地隊ノ所管、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セララル

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府所管第二十六特別根據地隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

内令

九七

0959



内令

横須賀鎮守府

第三十特別根據地隊

バラオ

(内令提要卷一、三八ノ五頁参照)

九八

0960

榮衣糧長

掌理

總照

糧食

被服

需品

内令第七十三號

昭和十七年内令第四十二號海軍特別根據地隊職員表ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍特別根據地隊職員表其ノ十三ヲ別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、四五二ノ二五頁参照)

内令

九九

0961

(別表)

(昭和十九年内令第七十三號)

海軍特別根據地隊職員表 其ノ十三

考 備	計		隊		隊		分隊長		主計長		軍醫長		副官		參謀		副長		司令官		
	特務士官	士官	中尉(水)	中尉(機)	主計中少尉(主)	軍醫中少尉	少佐、大尉	主計科佐尉官	軍醫科佐尉官	主計科佐尉官	軍醫科佐尉官	少佐、大尉	少佐、大尉	大佐	大佐	中佐	中佐	中少將			
五 特修兵ハ適宜トス	内兼務五人		一	一	一	一	兼務一	兼務一	兼務一	一	一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一
	兵	下士官	准士官	主計兵	衛生兵	工兵	機關兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機關兵	兵	主計兵	衛生兵	機關兵	兵	兵	兵	兵	兵
	百十人	三十七人	六人	六	五	六	九	八十四	四	三	三	四	二十三	一	一	一	三				

0962

内令第七十四號

昭和十七年内令第四十二號海軍特別根據地隊職員表ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍特別根據地隊職員表其ノ九中副官少佐、大尉「兼務一」ヲ「二」ニ、士官「三十八人」ヲ「三

十八人」ニ改ム  
兼務九人」

同表備考第三號中「及副官」ヲ削ル

海軍特別根據地隊職員表其ノ十中副官少佐、大尉「兼務一」ヲ「二」ニ、士官「十九人」ヲ

「十九人」ニ改ム  
兼務六人」

同表備考第一號中「及副官」ヲ削ル

(内令提要卷二、四五二ノ二〇頁参照)

内令

一〇一

0963

内令〔第七十三號〕  
〔第七十四號〕 (後送ス)

内令第七十五號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セラル

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設警備隊定員表其ノ七中第四十三ノ欄ヲ削ル

(内令提要卷一、五六二ノ一五頁参照)

内令第七十六號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十六特別根據地隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

鎮海防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第五十二號(鎮)、第五十三號(鎮)」ヲ削ル

内令

一〇三

0964

内令

一〇四

第三十特別  
根據地隊

第二十二號  
第二十六號  
第三十二號  
第三十三號  
第五十三號  
第五十五號  
（橫）  
（橫）  
（橫）  
（橫）  
（橫）  
（橫）

第四十三警備隊ノ項ヲ削ル

参照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令第七十七號

昭和十八年内令第二千五百六十六號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十六特別根據地隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第三十三特別  
根據地隊

昭和九(吳)  
第三昭和九(吳)  
第五昭和九(吳)

高砂九(吳)  
第三玉園九(吳)  
島九(吳)  
安宅九(吳)

八紘九(吳)  
第二勞榮九(吳)  
第一龜賣九(吳)  
水天九(吳)  
茨城九(吳)

0965

第四十三警備隊ノ項ヲ削ル

参照 前記内令ハ特設特務艇ノ所屬ノ件ナリ

○正 誤

本年内令第二十九號本文中「昭和十九年一月一日」ハ「當分ノ間」ノ誤

内 令

一〇五

0966

(別表)

佐世保鎮守府第百一特別陸戰隊職員表

(昭和十九年内令第七十八號)

考 備 一、下士官及兵ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減シ又他科ノ下士官及兵ヲ以テ充ツルコトヲ得 二、特修兵ハ適宜トス	計 士 官		隊 附 軍中少尉 醫中少尉					司 令 少佐、大尉							
	六人		一四					一							
	兵	下士官	准士官	主計兵	衛生兵	工兵	機關兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機關兵	兵曹	主計兵曹長	兵曹長
	百六十二人	四十八人	二人	七	二	三	四	百四十六	二	一	二	四	三十九	一	一

0967